

the
tokyo
chamber
opera
theatre

オペラ
Les Enfants Terribles
恐るべき子供たち

フランス語上演・日本語字幕付き

【原作】ジャン・コクトー 光文社古典新訳文庫『恐るべき子供たち』(中条省平・中条志穂訳)

【台本】フィリップ・グラス、スーザン・マーシヤル

【作曲】フィリップ・グラス

【指揮】中川賢一

【演出】久恒秀典

the
tokyo
chamber
opera
theatre

2026年

2月4日(水)

19:00開演

2月5日(木)

16:00開演

練馬文化センター小ホール

主催：一般社団法人 東京室内歌劇場

助成：芸術文化振興基金助成事業

アーツカウンシル東京[東京芸術文化創造発信助成(単年助成)]芸術創造活動

公益財団法人 三菱UFJ信託芸術文化財団

公益財団法人 練馬区文化振興協会 舞台芸術支援事業

協賛：株式会社喜代村(すしざんまい)

協力：光文社

後援：外務省、文部科学省、在日フランス大使館、アンステイチュ・フランセ



芸術文化振興基金



ARTS COUNCIL TOKYO



すしざんまい
SUSHIZANMAI



AMBASSADE
DE FRANCE
AU JAPON

INSTITUT
FRANÇAIS

フランス文化センター

アンケートにご協力をお願いします。

QRコードを読み取りGoogleフォームでご回答ください。

アンケートは公演後にご回答いただけます。

みなさまの貴重なご意見をお待ちしております。



ごあいさつ



一般社団法人 東京室内歌劇場代表理事　オペラ「恐るべき子供たち」制作統括　**杉野正隆**

本日はオペラ「恐るべき子供たち」の上演にご来場くださり心より御礼申し上げます。

私たちの団体の前身である任意団体東京室内歌劇場は、57年前に当時の日本のオペラ界を代表するメンバーによって創立され、発足当初から未知のオペラ作品の紹介を活発に行ってまいりました。すでに多くの人々に親しまれている有名なオペラ作品が優れた作品であることは言うまでもありませんが、現代作品を含む未知の作品の紹介や新しいオペラを創造することは、オペラ界全体の発展に大きく寄与する活動であったと言えます。

13年前から一般社団法人としてこの団体を引き継いできた私たちも、先人たちの意志を継承すべく様々な活動を行ってまいりましたが、昨年、新作オペラ「陰陽師」(原作:夢枕獏、作曲:木下牧子)の初演という大きな挑戦を行い、各界からの評価をいただきました。

今回の私たちの挑戦は、本邦初演となる現代作品の紹介です。

オペラ「恐るべき子供たち」は、20世紀を代表するフランス文学の巨人ジャン・コクトーと現代音楽の代表的な作曲家であるフィリップ・グラスの二人の芸術家が時代を超えて交錯する、極めて特異な作品であると言えます。思春期である“恐るべき”登場人物たちによる閉鎖的な愛、その暴力性、死に対する予感が、反復される緊密な音型によって見事に表現されており、まさにオペラにおける表現の可能性を広げた作品であると言えます。約1時間半の作品ですが、最後まで目を(耳を)離せない緊迫した音楽と世界観をお楽しみください。

今回、芸術文化振興基金、アーツカウンシル東京、三菱UFJ信託芸術文化財団、及び練馬区文化振興協会の各団体からの助成を受けることが出来ました。

また、株式会社喜代村様と個人の皆さまからのご協賛を賜り、光文社様からのご協力、外務省、文部科学省、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセの各機関からの後援を頂きました。

そして、オーディションで選ばれたキャストとピアニストの皆さんを始めとして、各方面から優れた音楽家、舞台関係者が集結してくださり、公演が実現しようとしています。

公演に先立ちまして、ご協力くださいましたすべての皆さまに、心からの感謝の意を表させていただきます。

指揮　中川賢一

私事だが昨年8月から心臓病(心不全)になり次に癌(摘出)になり、最後に敗血症になった。

もとはといえば、私がこのオペラを勉強はじめた昨年3月1日、寝ていたら突然激しく咳が止まらず、死ぬかと思うくらい呼吸ができなくなった。それは後でわかるが心不全の典型的な症状だった。ほかの病気はそれが引き金となった。これを私は「ボールの呪い」と呼んだ。

このオペラは石が入った雪玉がボールの胸にあたり、それが原因で家にこもりきりの病人となることが発端で起こるドラマだ。雪玉とは関係なくともまさに心不全という胸の病気、入院で病院にこもりきりのこととリンクして考えてしまう。間の短い退院があっても合計約2か月入院していたのだから。

エリザベートが弟ポールを独占したいがばかり、あらゆる悪を顧みず周りの人間を翻弄することから、もしかしたら「エリザベートの呪い」なのかもしれないが、どちらにしてもそれほど人の命の危機をも誘発するくらいの呪いに満ちた作品なのかもしれない、また演奏者にそれくらいの過酷な何か熾烈なものを強いる作品のように思えてしょうがない。そもそも昨年3回私は死に損なったのだから。上記のどの病気もその時入院していなければ私は死んでいた可能性が高かったらしい。

三つのすべての疾患の治療入院の退院後の最初の仕事、退院翌日の仕事がこのオペラの稽古であった。何かの因縁のように思えてしょうがない。その時は右ひざの敗血症化膿性関節炎であったので、右足を引きずり歩くのもままならない激しい痛みの中での稽古であった。それくらいこのオペラをすることは激痛を伴う過酷なものを強いるのである。

このオペラは悪、悪意に満ち満ちている。それにも関わらずこの物語になぜ人間は魅了されるのか？それが人間の面白いところである。

グラスは冒頭から3台のピアノによって機械のように執拗に同じ音型を繰り返し、発狂しそうな境地へいざなう。その狂気の音型の上に自由に歌が歌い、一瞬メロディーの魅惑に翻弄されそうに聞こえるが、金属の弦を打ち続ける3台のピアノの音型は非常にもそれと関係なく宿命のように最終幕へと突き進んでいく。それが何の意味かという、この謎解きの答えは皆さま自身で探し出していただけると、このオペラをさらに面白く体験できることだろう。

桐朋学園大学音楽学部でピアノと指揮を学び、卒業後、ベルギーのアントワープ王立音楽院ピアノ科を首席修了。在学中にフォルテピアノ、チェンバロも習得。1997年オランダのガウデアムス国際現代音楽演奏コンクール第3位。ヨーロッパ国内外の様々な音楽祭に出演、日本ではサントリーサマーフェスティバル、〈東京の夏〉音楽祭、武生国際音楽祭、仙台クラシックフェスティバルに度々参加。NHK-FM、NHK-BSに多数出演、新作初演も多い。指揮者としては、東京室内歌劇場、東京フィル、広響、仙台フィル他と共演。クラングフォルムウィーン、ムジークファブリーク、アンサンブルルシェルシュ、アルテルエゴなどを指揮、アルディツィカルテットやパーバラ・ハンニガン、イエルーン・ベルワルツ等と共演する他、アンサンブ・モデルンとのコラボレーションは話題を呼んだ。音楽監督を務めたフィリップ・グラス「浜辺のアインシュタイン」では令和4年度第77回文化庁芸術祭大賞受賞。(一財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業、(公財)ソニー音楽財団の「こどものためのクラシック」各登録アーティスト。「アンサンブル・ノード」、5台ピアノ「ピアノ・ツィルクス」各メンバー。お茶の水女子大学、桐朋学園大学非常勤講師。



『恐るべき子供たち』断片的演出ノート　演出　久恒秀典

このオペラには、人生はその幸不幸は人間にはどうにもならない力(運命)に晒されているという古典の理念、グラスの“死は人生を採点しない、死は思うままに人を連れ去る”という想い、さらに原作者コクトーの甘美な死への執着、あるいは愛が無力となる死の世界への憧れが描かれている。

“言葉は言葉同士を接合する接続詞etを必要とする。関係代名詞も忘れてはならない。散文は歩む”というコクトー、“書くともなく書く”詩人の文体によって、このオペラでは幕開けと終景の降りしきる雪のように、言葉や登場人物、物語や時間そして空間が挿入され並列され接合され、足し算のように膨らんで消えていく。作曲家のミニマリズム、反復における加算および減算プロセスによる音楽語法のように。

4人の孤児たちは恐るべき残酷さで、ヒステリックで皮肉にあふれ意地悪で大きさで尊大に冷笑的に罵り合い、騙し魅了され傷つけあう。なぜなら彼らの子供部屋には精霊/死が棲みつき、「夢」と「遊戯」によって死に向かって「生」を輝かせるから。

この子供部屋には姉弟を表裏一体、反目させかつ強力に結びつけるベッド、ガラクタを真珠へと変容させる宝箱、穢されざる巫女の座る三脚椅子、日常を超越し永遠の死へと誘う雪あかりに凍てつくカーテンが必要だ。

阿片中毒療養のさなか17日間でコクトーは実在の人物と自身を紡ぎあわせこの物語を完成させる。エリザベートとポールのモデルとなるジャンヌとジャンのブルゴワン姉弟、傍観者かつ共犯者さらには姉弟の心酔者でもある己が化身ジェラル、コンドルセ中学の同級生かつ背徳の天使ダルジュロス、その生き写しであり少年コクトー初恋の少女と同名のアガート…

死の間際、かつての雪合戦の幻影にポールがダルジュロスを探したように、コクトーがこの物語で追求めていたのは夭折の心理小説家ラディゲ、もう一人の恐るべき子供ではなかったか…

国際基督教大学卒。東宝演劇部を経て伊政府奨学生、文化庁在外研修員としてヴェネツィア大学、ヴェネト州立ゴールドーニ劇場付属演劇学校、フェニーチェ座で研鑽を積む。2008年絨毯座「偽のアルレッキーノ」(佐治敬三賞受賞)にてオペラ演出デビュー、最近の作品に東京文化会館「泣いた赤おに」「シミグダリ氏 または麦粉の殿」、東京藝術大学「フィガロの結婚」「コシ・ファン・トゥッテ」、京都市立芸術大学「ドン・ジョヴァンニ」「コシ・ファン・トゥッテ」、ヴェルデ会「フィガロの結婚」、東京室内歌劇場「陰陽師」がある。現在、新国立劇場オペラ研修所、東京藝術大学、東京音楽大学、京都市立芸術大学講師。

「困った愛すべき者たち」　アドバイザー　青島広志

2026年の時点において、正常と異常という区別は既に崩壊し、最も解り易い性差においてさえも、両端に掲げられた特徴の頂点の間に、切れ目なしに繋がった線があり、個人がどの位置に居場所を定めようと全く自由なのである。筆者の場合は指揮をするときは抗撃的であり、伴奏するときは受動的である。作曲は技術の点から朴実であり、絵においてはテーマから見れば繊細であろう。そして愛情面では限りなく両性愛で、近頃はそこに獣(犬)に対する愛も加わっている。

ただしこの原作が書かれた1929年では、登場人物五人の間、三人までは異端者と括られたであろう。ダルジュロスは暴力、反抗、毒薬密輸。ポールは怠惰(病気があったにせよ)、近親愛、自己愛、肉体露出。エリザベートも同様の上に策略家で虚言癖や盗癖も合わせ持つ。各々の友人であるジェラルとアガートはそれに比べ一般人だが、同性愛めいた感情から姉弟の世界に憧れを抱いている点で、予備軍でもある。

だが二人の世界は棲み易い。整理された部屋より乱雑なほうが、広間よりも物置のほうが、学校や勤めよりも巢穴のほうが寛げるのである。とくに芸術は運のように、汚れた泥から美しい花を咲かせるのだ。だから彼らは文か曲か絵を仕事にすべきだろう。作者のコクトーは、その結果、詩人・小説家と呼ばれるようになったのである。尤もそこには財産が必要で、作者を含めた登場人物たちは、当然のように享受している。更に重要なのは他者からの愛だが、主役の二人はそれが途切れた瞬間に生命を終えることになる。筆者も常にそれを確かめつつ少ない時間を生きるのだろう。

近い作家として、絵画であればバルテュスとムンク。文学であればワイルド、ブロンテ姉妹、森茉莉。漫画では岡田史子(ポーヴレド)、竹宮恵子(風と木の詩)が挙げられる。是非ご覧いただきたい夢のような作品である。

2/4 キャスト

エリザベート



北見エリナ

東京藝術大学声楽科を卒業後、同大学院音楽研究科修士課程オペラ専攻を首席にて修了。学部卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞、佐々木成子賞を受賞し、同声会新人演奏会に出演。修了時には大学院アカンサス音楽賞、取手市長賞、小川尚子賞海外派遣奨学金を受賞。令和6年度藤澤記念財団音楽奨学生。第70回藝大オペラ定期《フィガロの結婚》伯爵夫人役でオペラデビュー。これまでにベートーヴェン《第九》等のソプラノソリストを務めるほか、イタリアオペラを中心としたソプラノ・リリコの役を幅広くレパートリーにし、英米作品や現代音楽の初演にも積極的に取り組む。

ポール



片倉 旭

鹿児島県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科、及び同大学院修士課程声楽専攻を修了。卒業時に松田トシ賞、アカンサス賞、同声会賞を受賞、第88回読売新人演奏会に推薦され出演。第36回演奏堂日本歌曲コンクール第3位等受賞市には大学院アカンサス音楽賞、取手市長賞、小川尚子賞海外派遣奨学金を受賞。令和6年度藤澤記念財団音楽奨学生。第70回藝大オペラ定期《フィガロの結婚》伯爵夫人役でオペラデビュー。これまでにベートーヴェン《第九》等のソプラノソリストを務めるほか、イタリアオペラを中心としたソプラノ・リリコの役を幅広くレパートリーにし、英米作品や現代音楽の初演にも積極的に取り組む。

ジェラルール



中村祐哉

玉川大学芸術学部パフォーマンスアーツ学科卒業(優秀学生賞受賞)。桐朋学園大学大学院修士課程修了(奨学生)。東京二期会58期マスタークラス修了。成績優秀者による「新進声楽家のタベ」に出演。これまでに、オペラ「愛の妙薬」ネモリーノ役、オペラ「魔笛」タミーノ役、オペレッタ「天国と地獄」ブルート役、オペレッタ「こもり」アルフレード役、邦人オペラ「陰陽師」為良役など出演。第65回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。第20回ルーマニア国際音楽コンクール第2位。これまでに市川和彦、腰越満美、大橋ゆり各氏に師事。玉川大学教育学部教育学科非常勤講師。東京二期会、東京室内歌劇場会員。

ダルジュロス／アガート



川合ひとみ

東京藝術大学音楽学部卒業、桐朋学園大学研究科修了、ドイツ国立ロストック音楽演劇学校修士課程修了。在学中からドイツの室内歌劇場を始め各地で演奏活動を行い好評を得る。ミュンヘンでの「ラ・チェネントラ」題名役は特に高い評価を受けた。2017年ドイツ、ベルレック・ロッテ・レーマンアカデミー最優秀賞。主なオペラ出演「ジャンニスキッキ」、「ディドとエネアス」、「フィガロの結婚」、「ルイザ・マラー」、「さまよえるオランダ人」、「パルジファル」、「修道女アンジェリカ」など。宗教曲、合唱作品のソリスト、室内楽やミュージカル出演とその活動は多岐にわたる。二期会デビューとなったベルク作曲「ルル」ゲシュヴィツ伯爵令嬢役は2026年4月にも出演予定。二期会会員。

2/4・5 両公演

ナレーター



月村丹生

1974年生。岐阜県出身。俳優として早稲田大学演劇研究会「双数姉妹」所属後劇団「青年団」に移籍。1999年以降フランスでの創作を期に海外公演に多数出演。2007年文化庁在外芸術家派遣員としてクロアチアへ。2008年マルセイユ移住、和食レストラン「TakoSan」経営。2025年帰国。パフォーマンスグループ「スネークさん」を同志と立ち上げ、詩人、作曲家、パフォーマーとして豊岡演劇フェスティバル・奈義町現代美術館・大磯演劇祭に参加。同年地球研珊瑚プロジェクト「海のセレナーデ」金沢21世紀美術館出演。「人」と「場」を繋ぐ新しい芸術のカタチに想いを馳せている。

ピアノ 1



前田美恵子

東京都立芸術高校、東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。東京音楽大学大学院伴奏科修了。サントリーホール・オペラアカデミー修了。鹿児島県新人演奏会にて県知事賞受賞。これまでに東京芸術劇場・東京二期会などのオペラ公演に音楽スタッフとして参加。現在、東京音楽大学・同付属高校非常勤講師を務めながら、アンサンブルピアニストとして活動している。東京室内歌劇場会員。

ピアノ 2



大下沙織

静岡県出身。ウルバーニアオペラ研究所夏期コース修了。東井美佳、ジュリオ・ザッパ、各氏に師事。オペラ、宗教曲等の伴奏ピアニスト、声楽・合唱・器楽の伴奏者として様々なジャンルの音楽を広く手掛けている。東京室内歌劇場会員。音楽グループAVANTI所属。携わった主な作品は、「アイダ」「リゴレット」「マクベス」「仮面舞踏会」「愛の妙薬」「ランメルモールのルチア」「コジファントゥッチ」「偽の女庭師」「奥様女中」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「蝶々夫人」「アマールと夜の訪問者」「アメリカ舞踏会へ行く」「ホフマン物語」「ハムレット」「ハーリ・ヤーノシュ」「陰陽師」等。

ピアノ 3



松本康子

桐朋学園大学卒業後、同校アンサンブル・ディプロマコース修了。オペラ制作現場での音楽スタッフ、イタリア・ブッセートの伴奏ピアニスト、声楽・合唱・器楽の伴奏者として様々なジャンルの音楽を広く手掛けている。東京室内歌劇場会員。音楽グループAVANTI所属。携わった主な作品は、「アイダ」「リゴレット」「マクベス」「仮面舞踏会」「愛の妙薬」「ランメルモールのルチア」「コジファントゥッチ」「偽の女庭師」「奥様女中」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「蝶々夫人」「アマールと夜の訪問者」「アメリカ舞踏会へ行く」「ホフマン物語」「ハムレット」「ハーリ・ヤーノシュ」「陰陽師」等。

2/5 キャスト

エリザベート



芝野遥香

東京音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。帝国ホテル主催藤原歌劇団公演《インベリアルオペラ「フィガロの結婚」》バルバリーナでデビュー後、藤原歌劇団「フィガロの結婚」同役、日本オペラ協会には「キジムナー時を翔ける」フミオで本公演デビュー。「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル、「ラ・ボエーム」ムゼッタ、「源氏物語」紫上、「静と義経」大姫、「ヤマトタケル」若建王などで出演。ベートーヴェンミサ曲ハ長調、フォーレクイエム、バッハカンタータにおいてソプラノソリストを務める。藤原歌劇団準団員。日本オペラ協会正会員。26年11月、日生劇場にて日本オペラ協会公演「夕鶴」つう役で出演予定。

ポール



藤田魁人

東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業。3年次の試験にて首席に選ばれ、安宅賞を受賞する。同大学大学院オペラ専攻に進学。第70回藝大定期オペラにて、アルマヴィーヴァ伯爵役で出演。現在は日本オペラ振興会オペラ歌手育成部プロフェッショナルIIコースに在籍し、研鑽を積む。音楽団体「みゅーじっくはぐ」の第一回および第二回演奏会への参加や、オペラ・カンパニー「Novanta quattro」主催公演「船はついに安らぎぬ」の世界初演に船員/乗客役で出演するなど、現代声楽作品の演奏にも精力的に取り組んでいる。令和4年度 青山音楽財団 奨学生。これまでに声楽を近藤恵子、岡田尚之、甲斐栄次郎の各氏に師事。

ジェラルール



平野太一郎

東京藝術大学音楽学部卒業。声楽を西澤明、平野忠彦、福井敬、久保和範の各氏に師事。'19年より東京混声合唱団に所属('26年2月現在テノールパートマスター)。合唱を中心に幅広い演奏活動を行うほか、合唱指揮・指導者としても活動している。主な出演歴：東京室内歌劇場「魔笛」モノスタス／く／にたちオペラ「あの町は今日もお祭り」金魚&旅の男／神奈川県民ホール「浜辺のアインシュタイン」アンサンブルソリスト／'23～'25年新潟第九ソリストなど。TV出演：BS朝日「子どもたちに残したい美しい日本の歌」テレビ朝日「題名のない音楽会」など。童話音楽団体「おはなしきいたりい」団員。

ダルジュロス／アガート



長島有葵乃

NHK東京児童合唱団卒団。武蔵野音楽大学声楽専攻卒業、同大学大学院修了。福井直秋記念奨学金給費奨学金奨学生。第25回日本クラシック音楽コンクール声楽部門全国大会第3位(最高位)受賞。第41回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール声楽部門全国大会第1位受賞。武蔵野音楽大学坂東玉三郎特別招聘教授による特別講座受講生。これまでに国立音楽大学附属高等学校第12回招待演奏会、秋川雅史コンサート-日本の未来を担う若手声楽家との共演-などに出演。オペラではJ.Perla《アメリカン・ドリーム》(日本初演)エヴァ役、G.Bizet《カルメン》カルメン役、G.Verdi《椿姫》アンニーナ役を演じる。

解説とあらすじ

オペラ『恐るべき子供たち』は、4人の歌手とナレーター、3台のピアノのためのダンス室内オペラで、1996年にフィリップ・グラスによって作曲された。作曲家とアメリカ人振付師スーザン・マーシャルと共同でフランス語で執筆した台本は、ジャン・コクトーの1929年出版の同名小説とジャン＝ピエール・メルヴィル監督の1950年の映画に基づいている。1996年5月18日、ツーク(スイス)でカレン・カメンセクの指揮により世界初演された。

雪の晩、パリのモンティエ広場で少年たちが雪玉を投げ合うなか、ポールは憧れているダルジュロスの投げた石の入った雪玉を胸に受けて気絶する。友人のジェラルールはポールを家まで送り届けるが、ポールの姉エリザベートから冷たいあしらいを受ける。エリザベートとポールはベッドのある部屋で二人だけの世界を築いている。母の診察に来た医師はポールに療養を命じて通学を禁じる。ダルジュロスは学校を退学になり、ポールは彼と会えなくなることで心を痛める。やがて二人の姉弟の母親が亡くなり、エリザベートは服飾店でモデルとして働くことになる。彼女はモデル仲間のアガートを家に連れて来るようになる。アガートはダルジュロスに酷似した少女で、ポールは彼女を愛し始めるが冷淡な態度を取り、アガートも傷つきながらポールに愛情を抱く。エリザベートは大金持ちのユダヤ系アメリカ人マイケルと結婚するが、マイケルはすぐに交通事故で死亡する。莫大な遺産を相続したエリザベートは、マイケルの屋敷で再びポールと暮らし、アガートとジェラルールも屋敷に移り住む。ポールはアガートに愛を伝える手紙を書くが、速達で自分宛に送ってしまう。エリザベートは巧妙にポールとアガートが結ばれないように画策をし、アガートとジェラルールを結婚させる。ジェラルールは新婚旅行先でダルジュロスに出会い、彼から毒玉をポールに渡すよう託される。ポールはその毒玉を飲み、やって来たアガートにエリザベートの企みを明かす。エリザベートは自らのこめかみに銃口を押し当てて引き金を引く。

アドバイザー：青島広志
フランス語指導：和田ひでき
副指揮：小林滉三
演出助手：大森孝子 小野寺彩音

衣裳：西原梨恵
照明：山本創太(A.S.G)
音響：有馬純寿
字幕：杉野正隆
字幕操作：品川昌二(株式会社アルゴン社)
舞台監督：穂積千寿(株式会社ザ・スタッフ)
舞台監督助手：川原卓也 渡辺重明
衣裳製作・操作：東京衣裳株式会社
照明操作：株式会社アート・ステージライティング・グループ(A・S・G)
ヘアメイク：きとうせいこ
小道具：株式会社ザ・スタッフ
履物：株式会社アーティス
浄書：うえだよう
チラシ・ポスター・プログラムデザイン：大野 博

主催：一般社団法人 東京室内歌劇場
助成：芸術文化振興基金助成事業
アーツカウンシル東京[東京芸術文化創造発信助成(単年助成)]芸術創造活動
公益財団法人 三菱UFJ信託芸術文化財団
公益財団法人 練馬区文化振興協会 舞台芸術支援事業
協賛(法人)：株式会社 喜代村(すしざんまい)
協賛(個人)：飯沼楊子 大山八千代 斉藤美佳 齊藤義雄
武末昌子 野呂加寿子 船越昌江 前澤悦子 (五十音順)
協力：光文社
後援：外務省 文部科学省 在日フランス大使館 アンスティチュ・フランセ
制作：大津佐知子 久保晃子 中川郁太郎 前澤悦子 松本康子(東京室内歌劇場)
制作統括：杉野正隆
制作統括補：上田千尋(事務局)

一般社団法人 東京室内歌劇場

● 役員一覧

相談役 住野公一(株式会社オートバックスセブン相談役)
顧問 青島広志 / 関 定子 / 太刀川悦代 / 西 義一 (五十音順)
代表理事 杉野正隆
理事 石井真紀 / 大津佐知子 / 加地笑子 / 久保晃子 / 杉野正隆 / 田辺いづみ / 中川郁太郎 / 松井康司 / 松本康子 (五十音順)
監事 前澤悦子
事務局長 榎本晃宜
事務局 上田千尋

● 会員一覧

文芸・演出 青島広志
指揮 今村 能 藤本淳也
器楽 阿部智子 安藤真伊 石井里乃 稲葉和歌子 うえだよう 大下沙織 奥千歌子 加藤 耀 久保晃子 小林滉三 左近允垂紀子 立木彩音 田中恭子 田中知子 田邊紗世 塚田真理 塚田佳男 徳富香恵 鳥居礼子 中國宏実 中野恵奈 原 なぎさ 藤原弥生 瀧上千里 前田美恵子 松浦朋子 松本康子 八木智子 山口奈々子 山崎明子 山中聡子 頼田 恵

ソプラノ 会沢明美 赤星啓子 上石幸恵 浅川荘子 安陪恵美子 新井千恵 飯田聖美 飯田悠紀世 井口慈子 池田尚子 石井恵子 石原知枝 石原麻由 板倉修子 市川久子 伊藤邦恵 伊藤祐子 井上あい子 井上恵美 植木稚花 上田桂子 内田眞子 内田もと海 宇都宮章子 海野美栄 梅森綾子 悦田比呂子 大河原美紀子 大島洋子 太田道代 大津佐知子 大林香保里 大町加津子 大森寿枝 岡崎麻奈未 尾形晃子 小川嘉世 奥村喜美子 音羽麻紀子 小山道子 香川美智子 陰山雅代 榎木伴実 加地笑子 加藤千春 金丸直美 亀田眞由美 神戸佑実子 木網麻紗子 木村未希 木村優実 栗田真希子 黒川みや子 黒澤陽子 黒田たまき 桑原伊づみ 小池芳子 小泉恵子 小谷真美 小林菜美 駒井ゆり子 斎藤加奈子 斎藤美穂子 五月女淳子 境澤稚子 坂野由美子 坂本明佳 佐藤恵利 里中トヨコ 佐橋美起 猿山順子 塩澤 希 塩谷靖子 柴田智子 清水映子 清水菜穂子 新藤昌子 末吉朋子 鈴木彩水 鈴木沙久良 鈴木真理 鈴木みさと 関 定子 園田真木子 高井千慧子 高津桂良 高橋喜代美 高橋知子 高橋雅子 高山美帆 武澤佳絵 武智百合 田島秀美 田島由貴子 太刀川悦代 田中紗綾子 田中 恵 田辺意久美 田村きの 丹藤麻砂美 堤 幸子 津山 恵 鐵 京子 富永美樹 中尾有希子 中川美和 中島佳代子 中村初恵 中村寛子 中本椋子 長野佳奈子 名越桃子 並木 円 成田七香 新居佐和子 西 ひとみ 西村祐美子 根岸奏好 野崎由美 芳賀美穂 伯田桂子 橋本 芳 橋本典子 花岡 薫 林 恵麻 林 亘子 原口朝子 針生美智子 比嘉千子 福井優子 福田美樹子 古川尚子 細川美里 細野千賀子 堀江恵美子 前澤悦子 前田洋子 松堂美枝子 松原奈美 松原典子 松本潮子 真野綾子 宮澤那名子 牟田紀子 村松織部 柳澤利佳 山崎千代美 山本佳代 結城滋子 湯澤靖子 弓田真理子 横内尚子 横山政美 吉田亜矢子 吉田早奈恵 吉田美子 吉村華織 了戒洋子 和田友子

メソソプラノ/アルト 愛甲久美 青山恵子 赤井悦子 飯島由利江 井口雅子 石井真紀 岩森美里 内田裕見子 大島真梨亜 梶沼美和子 加藤麻子 河合利枝子 川口美和 菊地真菜美 北澤 幸 木村圭子 木村慎希 木村満寿美 栗林朋子 久利生悦子 志村美土里 下倉結衣 田口太美 武田美保 田代香澄 田中美佐子 田辺いづみ 田村冴子 中島麻紀子 中島清香 中島愛恵 長瀨厚子 半澤香織 前田美樹 三橋千鶴 三津山和代 森永朝子 森山綾子 梁取 里 百合道子

テノール 粟飯原俊文 安保弘介 碓氷昂之朗 大岩篤郎 太田 実 川出康平 紀野洋孝 行天祥晃 小林彰英 斉藤忠生 齊藤義雄 櫻井 淳 佐藤 洋 篠崎義昭 島田道生 鈴木雅人 曾根雅俊 高橋 淳 谷川佳幸 富澤祥行 中村祐哉 根岸一郎 土師雅人 羽山晃生 三村卓也 森田澄夫 山崎英明 吉田伸昭

バリトン/バス 飯村孝夫 小畑秀樹 菅野宏昭 草刈伸明 酒井 崇 佐竹敬雄 篠原大介 杉野正隆 土屋繁孝 中川郁太郎 中原和人 西 義一 馬場眞二 藤崎啓之 松井康司 和田ひでき

2026年初セリ史上最高値更新!! 大間産本鮪243kg 5億1030万円落札!!



東京・北海道・宮城・栃木・神奈川・愛知・京都 大阪・広島・福岡・熊本・鹿児島 全国45店舗

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| Tokyo | Hokkaido |
| ■本店 03-3541-1117 | ■すすきの店 011-200-8631 |
| ■別館 03-5148-3737 | Miyagi |
| ■本陣 03-5565-3636 | ■仙台一番町店 022-281-9098 |
| ■奥の院 03-3524-7252 | Tochigi |
| ■築地駅前店 03-3524-9833 | ■宇都宮駅前店 028-600-3017 |
| ■匠銀座6丁目店 03-6255-4177 | Kanagawa |
| ■廻る築地店 03-5550-8010 | ■横浜西口店 045-534-8367 |
| ■廻る築地2号店 03-6226-6900 | Aichi |
| ■新橋SL広場前店 03-5501-1211 | ■名古屋錦店 052-684-6270 |
| ■匠六本木ラピロス店 03-5772-1005 | Kyoto |
| ■自由が丘店 03-5731-3211 | ■京都河原町店 075-253-6916 |
| ■渋谷東急本店前店 03-5784-2820 | Osaka |
| ■渋谷道玄坂センタービル店 03-6455-1750 | ■戎橋店 06-6484-2280 |
| ■上野店 03-5807-6543 | Hiroshima |
| ■浅草雷門店 03-5826-1375 | ■広島店 082-207-2466 |
| ■高円寺店 03-5305-3383 | Fukuoka |
| ■東新宿店 03-5155-6655 | ■天神店 092-735-6789 |
| ■新宿東口店 03-5357-7737 | ■福岡中洲店 092-283-6781 |
| ■錦糸町店 03-5625-6788 | ■博多駅前店 092-433-2840 |
| ■東京ソラマチ店 03-5809-7355 | Kumamoto |
| ■東陽町店 03-5617-3020 | ■下通り店 096-342-6521 |
| ■富岡店 03-3643-5160 | Kagoshima |
| ■池袋東口店 03-5956-5836 | ■鹿児島天文館店 099-298-9585 |
| ■有楽町店 03-3500-2201 | |
| ■赤羽店 03-3598-3661 | |

※店舗によっては取扱いのない商品及び料金が異なります。

年中無休 www.kiyomura.co.jp